

# 第2回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

平成31年3月29日

## 説明内容

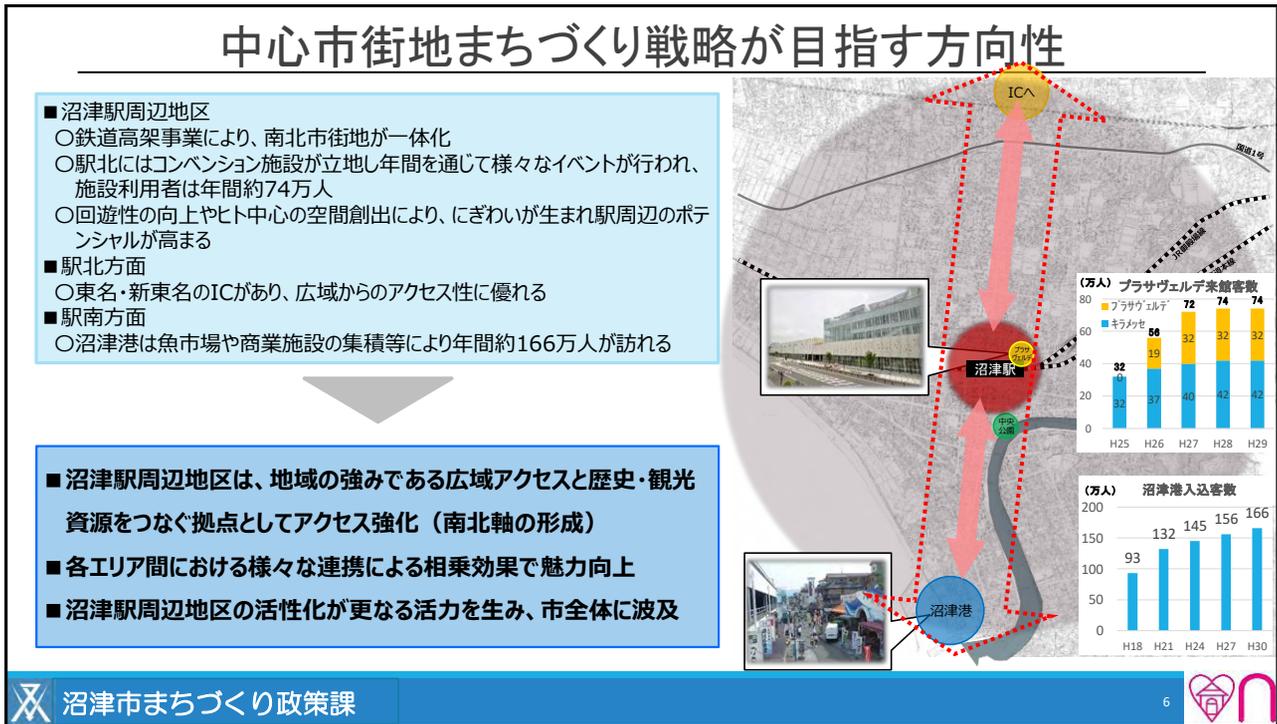
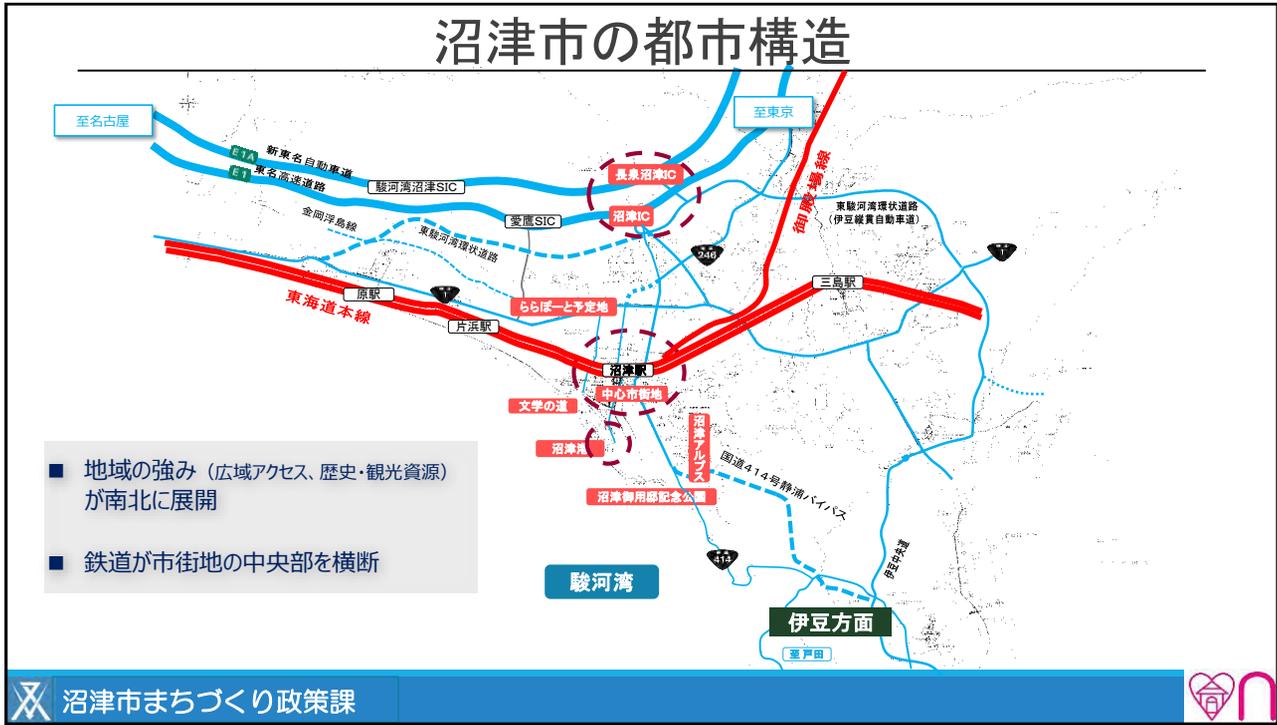
- 【Ⅰ】 第1回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議の概要
- 【Ⅱ】 中心市街地まちづくり戦略の検討に関するこれまでの取組
- 【Ⅲ】 公共空間再編について
- 【Ⅳ】 今後について

【 I 】

第1回会議  
の概要

1. 検討の論点と検討範囲のイメージ  
(公共空間再編／新たな都市機能導入)
2. 第1回会議における意見等

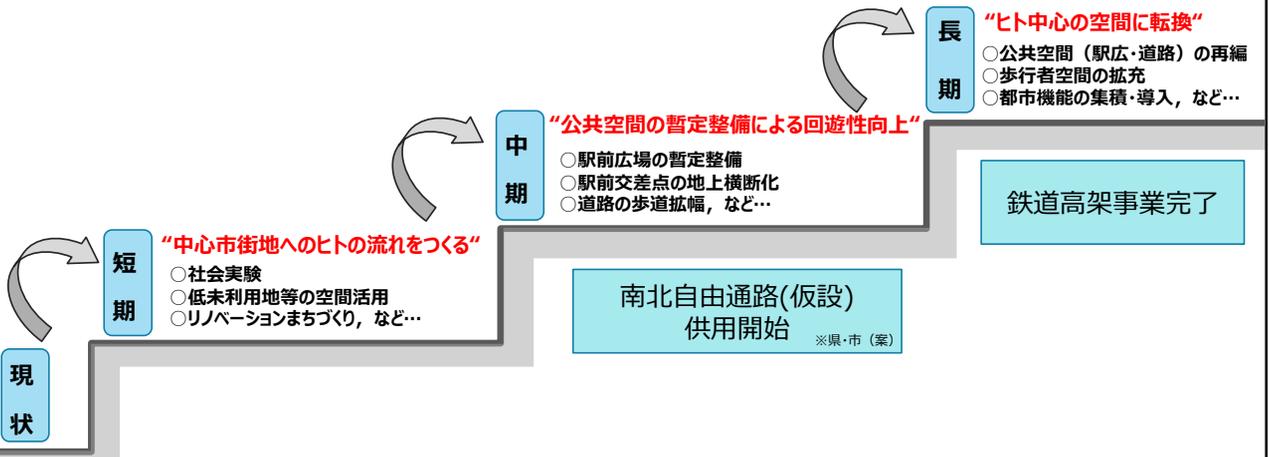
1. 検討の論点と検討範囲のイメージ  
(公共空間再編／新たな都市機能導入)



## 中心市街地まちづくり戦略のイメージ

中心市街地まちづくり戦略とは・・・

✓ 沼津駅周辺総合整備事業の進捗を見据え、将来像の実現に向けた段階的な取組方針



## 公共空間再編(論点整理)

### 沼津駅周辺の公共空間をヒト中心の空間に再編

- 駅前広場及び接続道路の再編
- 公共交通機能の再配置
- 歩行者の回遊動線改善による駅とまちの接着
- 空間再編による質の高い広場空間の創出

### 検討の切り口

#### 交通への影響

- 周辺幹線の交通流
- 歩行者・自転車動線
- 駅アクセスへの影響
- 公共交通の配置

#### 段階的な実現プロセス

- 現時点
- 仮設自由通路開通時
- 鉄道高架完成時

#### 隣接建物との関係

- 建物更新との一体的再編の可否 (建物一体型/単独再編型)
- リノベーションによる既存建物活用との連携の可能性

#### その他

- 公共空間の利活用方策 (官民連携)
- 営業駐車場への影響
- デザインコンセプト

# 新たな都市機能導入(論点整理)

## 鉄道跡地の利活用

- 拠点性の強化に資する都市機能立地
  - 集約型都市構造を支える拠点形成
  - 懇話会提言など既往の検討あり

## スポンジ化への対応

- まちなか居住に向けた総合的な取組
  - 子育て・教育環境の向上
  - 生活・教育環境の向上
  - 柔軟な働き方ニーズへの対応
  - 居住環境にふさわしい市街地形成

- 以下の観点を踏まえ検討を深化
- 市域全体にわたる市民サービス機能
  - 公共施設マネジメントとの連携
  - 区画整理の事業進捗と連携
  - 先進事例や新しい枠組みを活用した官民連携
  - トータルデザインの実現 等

- 空き床・低未利用地を活用した  
都市機能導入と市街地環境の向上
- 「実践先行型」の施策展開
- 新制度・先行事例の活用
  - 試行を重ねつつ、計画にフィードバック

# 検討範囲のイメージ

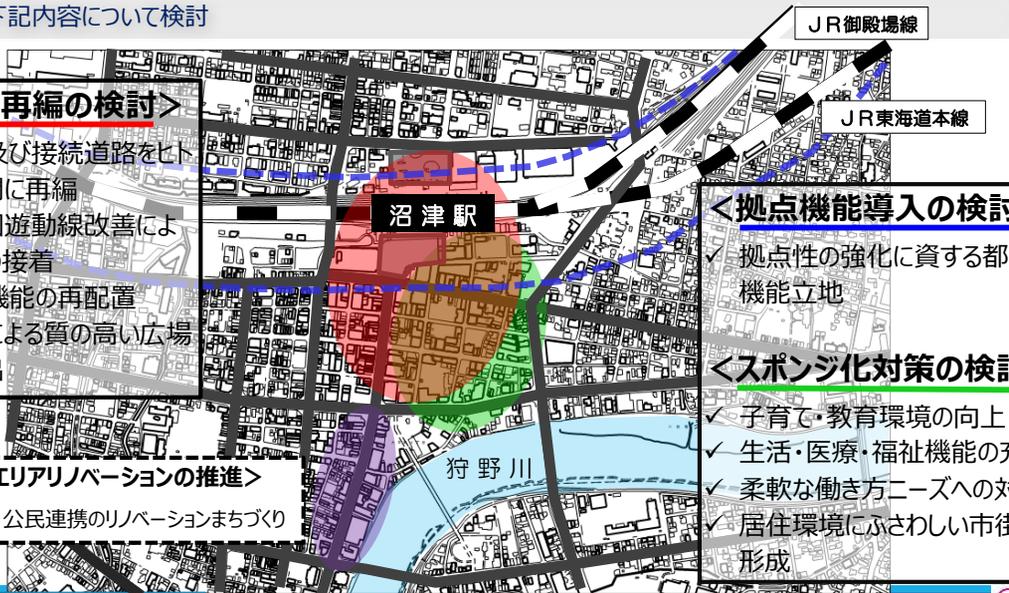
● まずは下記内容について検討

### <公共空間再編の検討>

- ✓ 駅前広場及び接続道路をヒト中心の空間に再編
- ✓ 歩行者の回遊動線改善による駅とまちの接着
- ✓ 公共交通機能の再配置
- ✓ 空間再編による質の高い広場空間の創出

### <エリアリノベーションの推進>

- ✓ 公民連携のリノベーションまちづくり



### <拠点機能導入の検討>

- ✓ 拠点性の強化に資する都市機能立地

### <スポンジ化対策の検討>

- ✓ 子育て・教育環境の向上
- ✓ 生活・医療・福祉機能の充実
- ✓ 柔軟な働き方ニーズへの対応
- ✓ 居住環境にふさわしい市街地形成

## 2. 第1回会議における意見等



### 第1回会議の意見等

- 公共空間デザインをどのようなコンセプトにするのか
- 交通結節機能を充実させるため、公共交通の集約や再編を検討すべき
- 北口エリアと南口エリアをどのように連携させていくのか
- 沼津駅周辺総合整備事業による基盤整備はどのように進めていくのか



(参考) 沼津駅周辺総合整備事業の概要～現況～



(参考) 沼津駅周辺総合整備事業の概要～中期～





## 【Ⅱ】

まちづくり戦略  
検討に関する  
これまでの取組

1. まちづくり戦略の検討経過
2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の取組
  - 2-1. 「アルコミチ」社会実験
  - 2-2. 沼津駅－沼津港間「EVバス」試験運行
  - 2-3. 駐車場実態調査
  - 2-4. 新たな公共交通の仕組み研究会
  - 2-5. 中央公園民間活用ヒアリング
  - 2-6. リノベーションまちづくり

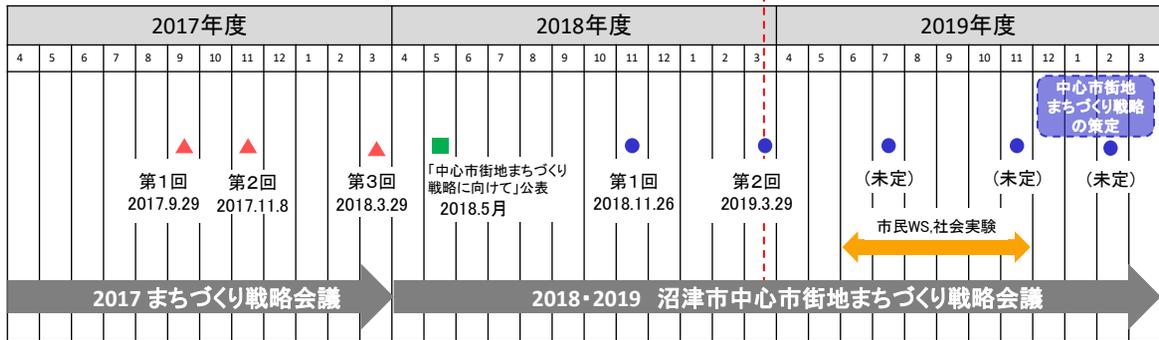


## 1. まちづくり戦略の検討経過



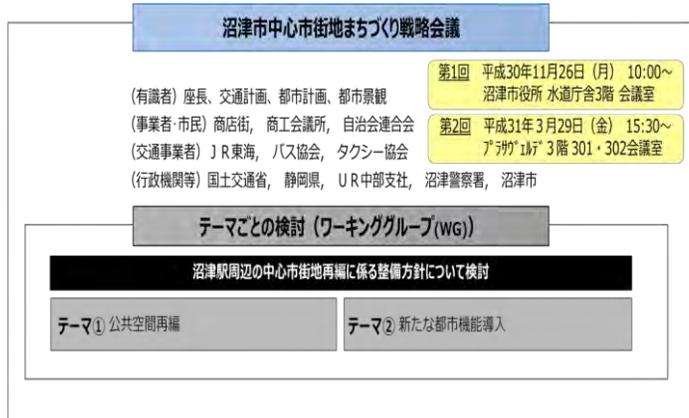
## まちづくり戦略の検討経過

- 2017年にまちづくり戦略会議を開催し「沼津市中心市街地まちづくり戦略に向けて」を公表
- 2018年・2019年の2か年で「沼津市中心市街地まちづくり戦略」の策定を目指す



## 2018中心市街地まちづくり戦略会議

- 中心市街地のまちづくりについて、様々な見地から意見を求めるとともに、関係者間での情報共有、調整及び連携を図ることを目的に「沼津市中心市街地まちづくり戦略会議」を開催
- 「公共空間再編」と「新たな都市機能導入」を今後の検討のテーマとしていくことを共有



## 公共空間再編と公共交通に関する会議(WG)

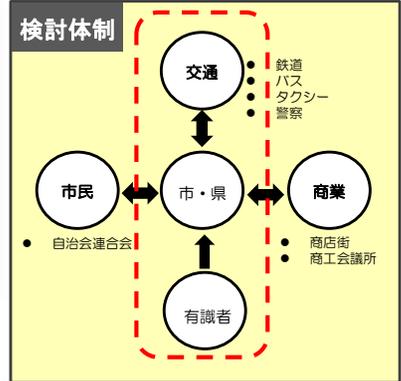
**目的**

- 沼津駅周辺総合整備事業を契機に  
沼津駅周辺の公共空間をヒト中心の空間に再編

**検討内容**

- 南口駅前広場の再編に向け、歩行者動線・車両動線、交通機能の規模・配置等を検討

■ 上記について、関係者間で検討を深める



**検討状況**

2018年12月 第1回 公共空間再編と公共交通に関する会議

- ・ 中心市街地の現状と課題
- ・ 中心市街地まちづくりの将来像 等

2018年12月 交通事業者ヒアリング

- ・ 南北駅前広場の機能分担、乗り場の集約
- ・ 待機スペースの運用 等

2019年1月 第2回 公共空間再編と公共交通に関する会議

- ・ 交通事業者ヒアリングの結果
- ・ 駅前広場のあり方、機能配置 等

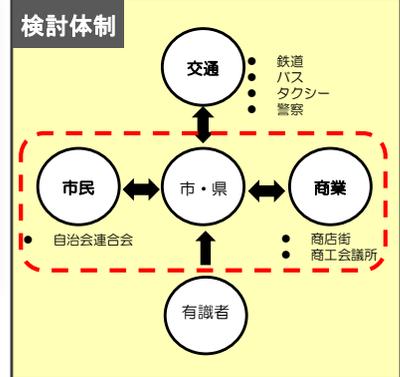


## 都市機能導入に関する会議(WG)

<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沼津駅周辺総合整備事業により発生する土地への都市機能の導入、都市のスポンジ化への対応</li> </ul>
<b>検討内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道施設跡地等の利活用</li> <li>● 駅周辺の空き床・低未利用地の活用</li> </ul>

↓

■ 上記について、関係者間で検討を深める



### 検討状況

2019年3月 第1回 新たな都市機能導入に関する会議

- ・ 鉄道施設跡地利用懇話会における提言
- ・ 駐車場実態調査

## (参考) 鉄道施設跡地利用懇話会における提言

### 沼津駅周辺に新たに導入することが望ましい機能

#### 沼津のまちづくりにおいて重視すべき視点

- 新しい時代の変化に対応したまちづくり
  - ・ 多様で魅力ある仕事や活動の場の創出を目指す
  - ・ すべての世代の市民が安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備を進める
  - ・ ユニバーサルデザインの徹底など、すべての人が等しく暮らしやすい都市をつくる
  - ・ 安全で質の高い居住環境の整備とともに、子育てを支援するさまざまな仕組みの充実を図る
  - ・ 団塊の世代を中心とする市民について、まちづくり等の社会的活動への積極的な参加を促進する
- 沼津の地域資産を活かしたまちづくり
  - ・ 「地域資産」について周遊ルートの再整備などにより回遊性を高め、沼津市全体としての魅力を高める
  - ・ 変化に富んだ豊かな自然環境やそこから生まれる農産物・海産物、良質の飲み水などの対外的な情報発信に努める
- 連携と交流を促すまちづくり
  - ・ 広域的な拠点性を高める機能導入やまちづくりを進める
  - ・ 主要幹線道路の体系的な整備に取り組む
  - ・ 市内外の回遊性を高め、中心部ににぎわい創出や生活利便性の向上を図る
- 公民協働の持続的なまちづくり
  - ・ 長期的視点に立ったまちづくりを進める
  - ・ 公民協働のボトムアップ型のまちづくりを進める
  - ・ 質の高い都市空間・居住環境の実現を図る

#### 沼津駅周辺に新たに導入することが望ましい機能

- < 先進産業機能 >
 

周辺市町と効果的に連携・役割分担しつつ、先進的産業に関連した機能の導入を図る。

  - ① 先進医療関連施設等の先進産業機能を導入する
    - ・ 先進・先端産業関連の企業等
    - ・ 先進・高度医療関連等の新しい分野に関する教育・研修施設や医科系大学
  - ② 先進医療と観光との連携等、沼津の強みを活かした先進産業を誘致する
    - ・ 医療ツーリズム関連施設
  - ③ 新産業創出の核となるベンチャー企業を育成・誘致する
- < 生活サービス機能 >
 

駅周辺の交通利便性を活かした健康・医療・福祉等の多様な生活サービス機能の導入を図る。

  - ・ 子どもの医療や専門的な疾患に特化した病院等
  - ・ 保育所等の子育て支援施設等
  - ・ 高齢者福祉施設等
- < 行政機能 >
 

市民の利便性を高める行政サービスの充実とともに拠点都市機能を強化するため、市役所などの行政機能の導入を図る。

  - ・ 市役所の窓口機能等
  - ・ 市役所、裁判所、警察署等行政機関の建て替え時期に合わせた移転整備
  - ・ 地域防災力を高めるためのコンパクトな防災設備の分散整備等
- < 健康増進機能 >
 

健康づくりや疾病予防のために誰もが生理にわたって気軽にスポーツを楽しめるよう、屋内運動施設等の利用しやすいスポーツ施設の整備を図る。

  - ・ 乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用できるスポーツ施設等
  - ・ 地域活動が一体的にできる施設を併設したスポーツ施設等
  - ・ 小規模なスポーツジム等

## 2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の実践

### 2-1. 「アルコミチ」社会実験



### 「アルコミチ」社会実験 (2018. 11/2~5)



位置図



全体写真



スポーツエリアの様子



くつろぎエリアの様子



飲食エリアの様子



## 「アルコミチ」社会実験（2018. 11/2～5）

（目的） 中心市街地の道路空間を実験的に歩行空間化し、車中心ではなくヒト中心の空間を可視化するとともに、周辺車両交通状況などの調査分析等を行う。

（概要） 実施日：平成30年11月 2日（金）～ 5日（月）の4日間

24時間 車両通行止め（一部区間は片側のみ）

「飲食エリア」には沿道店舗等による出店や飲食テーブル、「くつろぎエリア」には芝生シートやハンモック、「スポーツエリア」にはスケボーパークなど、様々な過ごし方を喚起する仕掛けを配置。



（まとめ）

- 公共空間の活用は、来街者及び沿道店舗ともに好評であった。
- 沿道建物と公共空間の一体的な利活用について地権者の機運向上が図られた。
- 車両通行止めによる渋滞の発生等、大きな混乱は見られなかった。
- 全面及び一部車両通行止めによる空間の使い方の違いが把握できた。



## 2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の取組

### 2-2. 新たな公共交通の仕組み研究会



## 新たな公共交通の仕組み研究会

- 市民、学識経験者、交通事業者とともに、公共交通の課題と改善に係るワークショップを開催
- 事業者との関係構築とともに地域公共交通網形成計画づくりの機運を高めた

### 【第1回】H30.9.21 「沼津市の公共交通」の把握

**論点** ✓ 沼津市のバス路線は3つの事業者により沼津駅を中心として多方面に整備されている。  
 ✓ 多方面のバス路線網を活かしていくことが沼津市の公共交通の重要なポイントであるが、駅を中心とした「**バス路線・運行の分かりにくさ**」を改善していくことが特に重要。



### 【第2回】H30.10.29 「沼津駅バスターミナルやバス停(さんさん通り)の問題点」の抽出

**論点** ✓ バス乗り場の配置 (→同じ行き先なのに違うバス停から路線が出ており整理が必要)  
 ✓ バス停の行き先、経由地、時刻表、系統図の分かりやすさ確保が必要)  
 ✓ バス乗り場・タクシー乗り場の案内図 ✓ 待合環境



#### <改善案>

- ・会社を問わず、方面別にバス停をまとめる。
- ・方面別に系統番号を付ける。

#### 八戸駅バスのりば案内

のりば	経由地・行先	沿線乗降場
1	沼津駅、中心部方面	沼津駅、中心部方面
2	沼津駅、中心部方面	沼津駅、中心部方面
3	沼津駅、中心部方面	沼津駅、中心部方面
4	沼津駅、中心部方面	沼津駅、中心部方面
5	沼津駅、中心部方面	沼津駅、中心部方面



# 新たな公共交通の仕組み研究会

## 【第3回】H30.12.3 「沼津駅バスターミナルの集約化及びバス案内の改善案」の検討

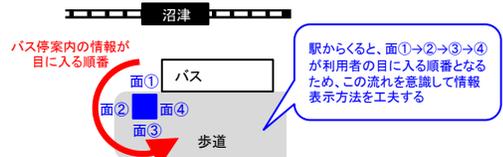
### 論点 ①行き先の視点から考えた乗り場の設定

- ✓バス乗り場の方面別の集約配置  
(→同じ行き先の路線は整理する)
- ✓中心となる路線、売れ筋路線は駅から近くわかりやすい位置に配置
- ✓来訪者・観光客のメイン路線（沼津港や多比）と市民のメイン路線（市立病院や将来ららぽーと路線）の視点からも分かりやすい位置にバス停を配置



### ②バス停時刻表の分かりやすい表示方法の検討

- ✓駅方面からはまずは乗り場、行き先案内。最初に目に入る板面としての工夫。
- ✓利用者がバス停に近づく動きに合わせ大きい情報から詳細情報へ、段階的に情報を示していく。(ファミレスに例えると、看板、ショーウィンドウ、メニュー)
- ✓空きスペースはお知らせ、事業者問合せ先、施設情報等を提供。



## 【第4回】H31.1.24 「方面別路線のあり方」の検討

### 論点 ✓路線の方面別色分け、見せ方、集約方法



## 【第5回】H31.3.20 「沼津市のバス路線網形成のあり方や今後の取組のまとめ」



## 2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の取組

### 2-3. 沼津駅－沼津港間「EVバス」試験運行



### EVバス試験運行(2018.10/6～11/4)



◀ 運行期間  
平成30年10月6日～11月4日

◀ 運行時間  
平日 沼津駅9:20発～17:10着 7往復  
土日祝 沼津駅9:00発～20:30着 9往復

◀ 車 輛  
最高速度19km/hの低速電動自動車  
乗車定員9人(運転手除く)



## EVバス試験運行(2018.10/6~11/4)

- 定員9人に対して、平均7.1人と高い乗車率(日中はほぼ満員)
- 平日の第1便及び土日祝日の第9便(夜間)は利用が少ない

	日数	運行本数	総人数	1便あたり
平日	17	238	1,642	6.9
土日祝	11	184	1,347	7.3
総合計	28	422	<b>2,989</b>	<b>7.1</b>

	沼津駅発		沼津港発	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日
第1便	4.0	7.8	4.1	6.3
第2便	8.5	8.8	5.4	8.2
第3便	8.7	9.0	6.0	8.1
第4便	7.6	8.3	8.5	9.0
第5便	7.3	8.5	8.4	8.8
第6便	7.3	8.6	8.2	8.8
第7便	6.7	6.1	5.9	6.7
第8便	-	5.0	-	6.1
第9便	-	2.2	-	5.3

- 自動車利用の抑制(公共交通への利用転換)及び環境に配慮した車両活用によるイメージアップ
- 沼津駅-沼津港間の多様なアクセスによる連携強化と中心市街地へのにぎわいの波及への期待

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
平日	7.8	13.6	11.3	14.2	10.1	16.6	18.0	8.5
土日祝日	13.8	16.1	17.7	19.5	13.2	8.8	7.7	3.3

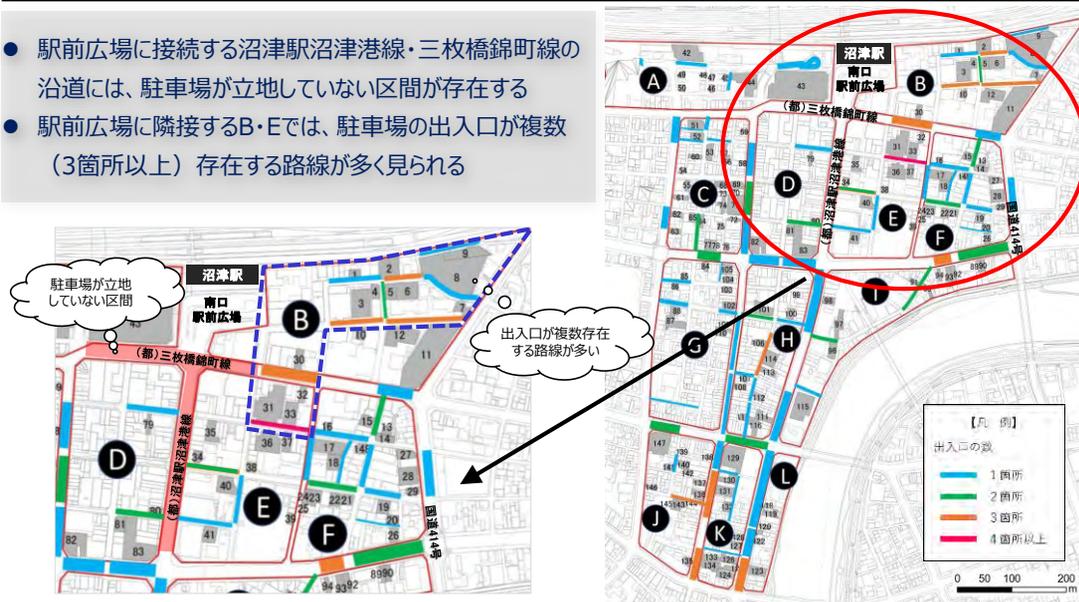
人に優しい	開放感がある	楽しい	かわいい	新しい乗り物	また乗りたい	遅い	不便	魅力はない	危ない	人との距離が近い	もう乗りたくない
35.6	62.0	36.7	33.1	40.6	41.6	2.5	0.3	0.2	0.4	5.5	0.2





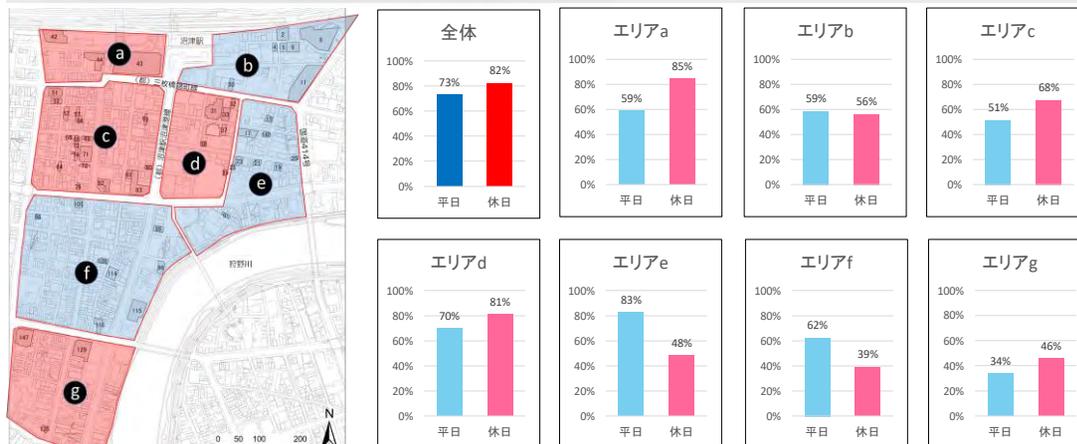
## 駐車場実態調査(調査結果-配置状況-)

- 駅前広場に接続する沼津駅沼津港線・三枚橋錦町線の沿道には、駐車場が立地していない区間が存在する
- 駅前広場に隣接するB・Eでは、駐車場の出入口が複数(3箇所以上)存在する路線が多く見られる



## 駐車場実態調査(調査結果-利用率-)

- 個別では満車となっている駐車場も確認できたが、エリア単位ではある程度の空きが見られる
- 全体では休日の利用率がやや高い
- a・c・dは休日の利用率が著しく高いことから商業目的利用が想定されるが、近傍には業務施設も立地していることから、営業車両等が休日に駐車されている可能性も考えられる



※時間貸駐車場の  
庫の利用率

## 駐車場実態調査(これからの検討)

### ■ 駐車場の現状

- ・ 駐車場が散在し、まちの魅力やにぎわいが低下（都市のスポンジ化の進行）
- ・ 駅前広場に接続する幹線道路の沿道には、駐車場が立地していない区間が存在する
- ・ エリア単位ではある程度の空きが見られ、一定のエリアごとに駐車場のあり方を検討する必要がある



### ■ これからの検討 ～駐車場の集約や利用転換に向けて～

- コモンズ協定等の新制度・先行事例を活用した駐車場の集約や利活用の検討
- 駐車場オーナーへのヒアリングを実施し、賛同する地権者や適地を発掘
- 駐車場利用者へのヒアリングを実施し、駐車利用の目的や将来的な駐車場のニーズを把握
- まちづくりの方向性の理解と協力を得るとともに、新たな駐車場立地を抑制するための仕組みの検討



## 2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の実施

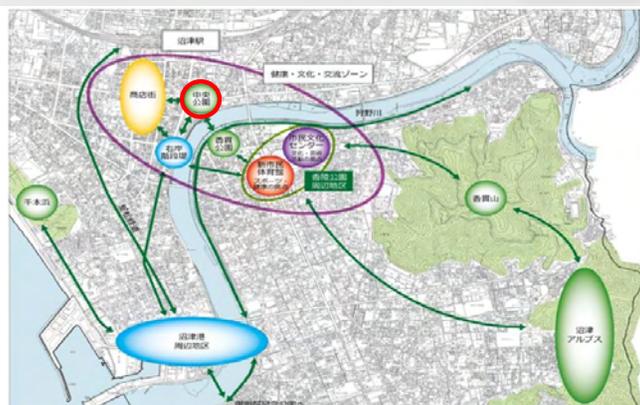
### 2-5. 中央公園民間活用ヒアリング



### 中央公園民間活用ヒアリング (中央公園の位置づけ)

- 本市の中心市街地は、沼津港や千本浜、沼津アルプス等の地域資源に近接していることが特徴
- 地域資源の魅力を中心市街地のにぎわいの創出につなげていくため、公共交通の検討とあわせて歩行者、自転車のネットワークを強化する必要性

「中央公園」は、中心市街地と地域資源をつなぐ回遊の拠点



<健康・文化・交流ゾーン形成イメージ>  
「第2次沼津市都市計画マスタープラン」



## 中央公園民間活用ヒアリング（調査概要と結果）

### <目的>

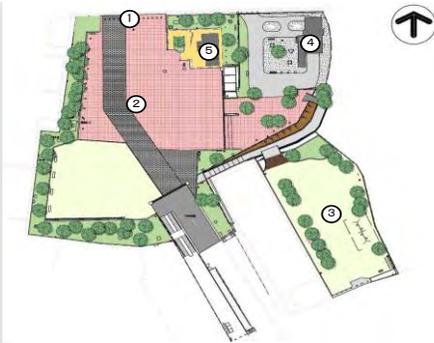
中央公園の利便性の向上、ヒト中心のにぎわい空間としていくため、民間活力を導入することで「最小の経費で最大の効果」が得られる最適な事業手法を検討

### <概要>

民間事業者アンケート及びヒアリングを実施し、アイデアや関心を幅広く把握するとともに、民間活力導入により整備・運営を行う施設のあり方、今後の事業化に向けた課題を整理

### <結果>

- 公園南側（下段）の一体的な活用、イベント利便性の向上に向けた公園再整備の必要性
  - ・中央公園から風のテラス（狩野川右岸堤）へのアクセス改善
  - ・外周植栽の撤去
  - ・雨天時におけるイベント等への対応
- 公園利活用に関する社会実験の実施の必要性  
などが挙げられた



## 中央公園民間活用ヒアリング（これからの検討）

### ■ 中央公園の現状・課題

- ・公園外周に植栽帯が設置され、周囲の建物等と切り離された形態の公園である
- ・園内に設置されている「沼津リング & スキルズステーション」の利用は平日に限定され、各種受付業務のみ実施
- ・沼津市パークマネジメントプランでは、子どもから高齢者まで様々な世代が利用できる公園としているものの、遊具施設は4連ブランコのみ

### ■ これからの検討

- 公園外周植栽の再整備の検討及び隣接するビル群（事業者）から直接公園へ出入りできる基盤整備の検討
- 官民連携による公園内施設利用のあり方の検討
- 市民参加による遊具製作・段差を活用した遊具設置により、幅広い世代が中央公園に愛着を持つ公園整備の検討
- 中央公園を起点とし、あゆみ橋・風のテラス・狩野川緑地・香貫公園を一体的空間として利活用できる整備の実施に向けての調整



## 2. まちづくり戦略検討に関する2018年度の実施

### 2-6. リノベーションまちづくり



### 本市のリノベーションまちづくり

- 民間主導による公民連携のまちづくりを目指して平成27年度から着手
- 「リノベーションまちづくり推進ガイドライン」を策定し、公と民が目指すべき方向性やまちの将来像を共有
- 過去4回のリノベーションスクール開催などで人材の発掘・育成、個別の事業化を支援
- 家守会社の育成・組織化などにより、多くの事業が生まれる仕組みを構築



# 本市のリノベーションまちづくり

4年間の取組で38件事業化：民間主導による遊休資産を活用したプロジェクトが続々と創出



1 Artique door 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	2 スキマ cinema 廃校ビル改修・大規模 改装工事	3 小島いんげん 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	4 Baker's Dozen 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
5 リパブリュー 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	6 ツナギト建築設計事務所 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	7 Min de SHACO 主客の集 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	8 MEMENTO 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
9 小島いんげん 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	10 ゲストハウス SEXINO 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	11 INN THE PARK 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	12 おまじろ堂「おまじろ」 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
13 pizza ヴラダ 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	14 Living CLUBE 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	15 金野屋「上」 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	16 建築設計事務所 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
17 EL PASITO 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	18 DHARMA NUMAZU 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	19 キンギンデザイン「dorlog」 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	20 The Old Bus 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
21 NUMAZU DESIGN CENTER 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	22 ENZOU 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	23 Uraza 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	24 ねむろ学館 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
25 ナカニエールテラス 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	26 アトラエ 4B 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	27 TINY STAND 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	28 小島いんげん 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
29 Living Blue 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	30 On the terrace 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	31 コナエ工業 ぼくどろ 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	32 ACTIAVO 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
33 FERRET COFFEE 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	34 エニシア 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	35 Tagora「アゴラ」 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	36 建築設計事務所 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事
37 ゲストハウス「NORA」 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事	38 DOORSIDE MITO PARK 1階・2階ビル改修・大規模 改装工事		

このエリアで多くの  
事業化が実現

# 本市のリノベーションまちづくり

旧国道1号以南のエリアにおいて多くの店舗が生まれる：まちが変わる機運の向上、これに呼応した公共空間の再編を検討



【Ⅲ】

公共空間再編  
について

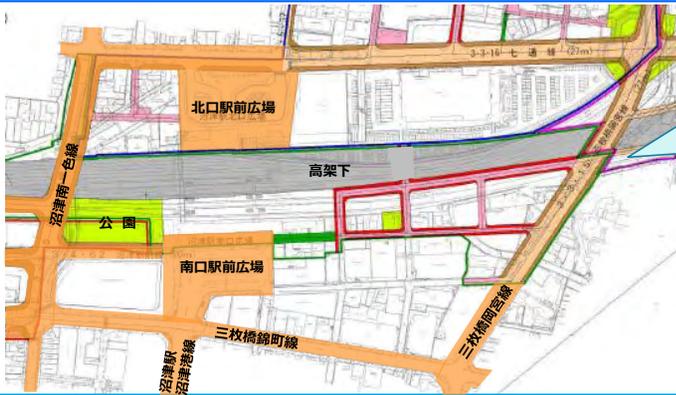
1. 公共空間再編の方向性
2. 交通体系の方向性
3. 公共空間再編に向けた段階的な取組

1. 公共空間再編の方向性

# 公共空間再編(論点整理)

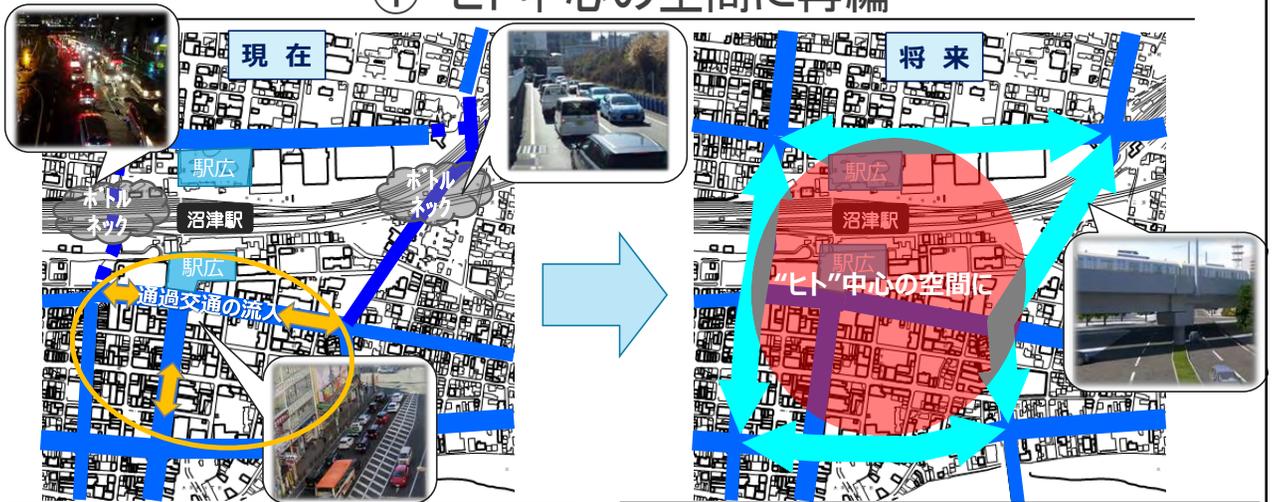
## 沼津駅周辺の公共空間をヒト中心の空間に再編

- 駅前広場及び接続道路の再編
- 公共交通機能の再配置
- 歩行者の回遊動線改善による駅とまちの接着
- 空間再編による質の高い広場空間の創出



駅周辺には、沼津駅周辺総合整備事業により「駅前広場」・「道路」・「公園」・「高架下」等の公共空間が整備

### ① ヒト中心の空間に再編



- 鉄道ガード（ボトルネック）により混雑が発生
- 鉄道ガードの混雑により駅前道路に通過交通が流入

- 自動車交通は環状道路で受け持つことにより、交通が円滑化
- このことから環状道路の内側をヒトにとって快適な空間に再編

※ 今後、定量的な検証が必要

## ② 駅前オープンスペースの創出

### ■現状

- ・車（一般車、バス、タクシー）中心の空間となっている
- ・歩行空間が狭く、溜り場やくつろげる空間がない

### ■これから

- ・鉄道高架事業により、コンコースをはじめとする歩行者の南北動線が強化され回遊性が向上
- ・ヒトが集い、憩える滞留空間（オープンスペース）を創出する必要性

### ■車中心の空間



### ■ヒトの空間不足



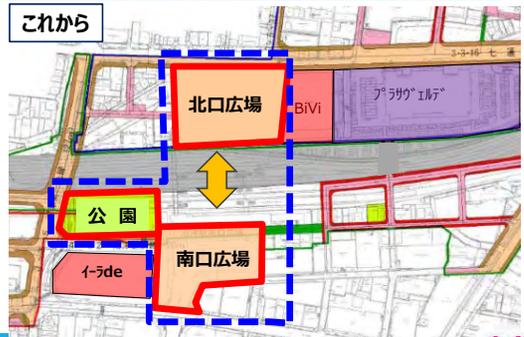
## ③ 交通結節機能の拡充

### ■現状

- ・バスの乗降場が分散し、利便性が低い
- ・バス事業者ごとに乗降場が配置されているため、利用者にわかりにくい
- ・鉄道からバスへの乗換時に車両と交錯
- ・タクシープールが大きく面積を占めている

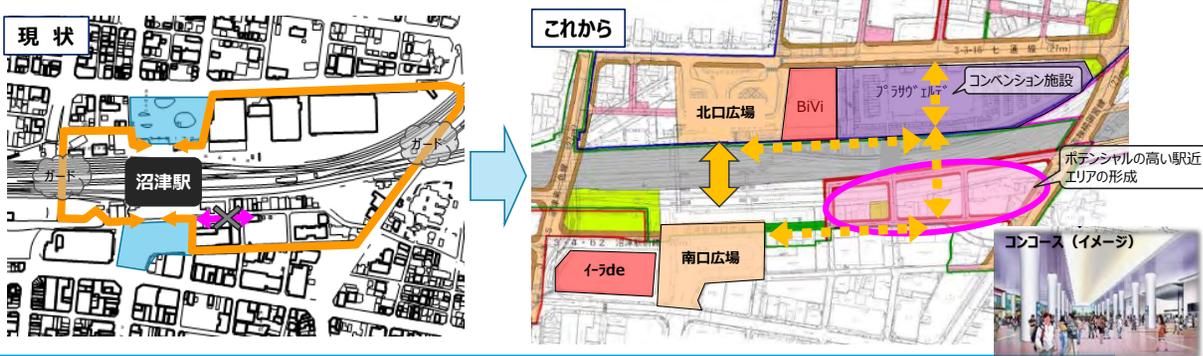
### ■これから

- ・方面別への再編及びバスバースの集約により利便性向上の必要性
- ・タクシープール再編に向けた検討
- ・駅前広場のあり方については、「北口広場」、「南口広場」、「公園」の3つのエリアを活用し最適な機能配置を検討



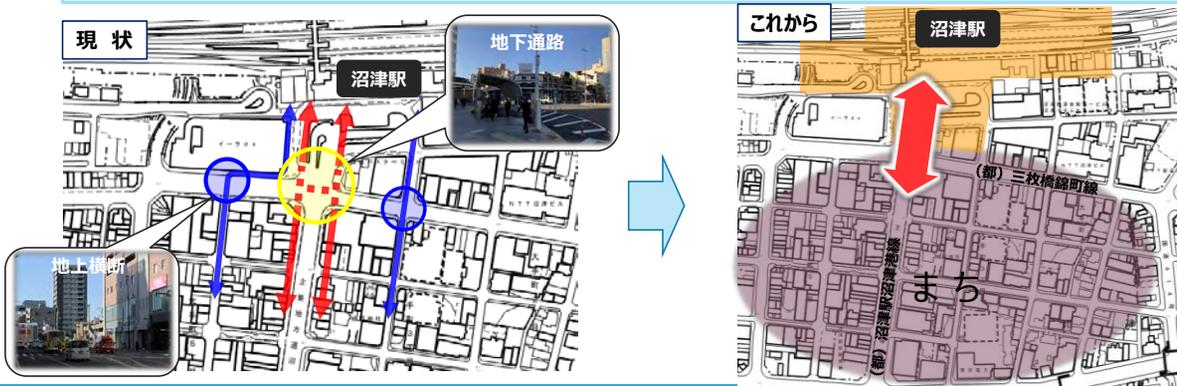
### ④ 駅周辺の回遊性向上

- 現状
  - ・ 駅からの南北の行き来は、迂回して東西の鉄道ガードを通行
- これから
  - ・ 鉄道高架事業による南北通路の整備により南北市街地の連携強化
  - ・ 区画整理事業により道路が整備されたポテンシャルの高い駅近エリアの形成
  - ・ 駅と駅近エリア、コンベンション施設を回遊するネットワーク形成に向けた検討
  - ・ 駅周辺を回遊するヒトの流れを“まち”に波及させる仕掛けの必要性



### ⑤ 駅と“まち”の接着

- 現状
  - ・ 駅から“まち”へは地下通路からのアクセスか、地上は広幅員道路を横断
  - ・ 歩行者からは、駅と“まち”が連続性なく遠く感じられる
- これから
  - ・ 駅と“まち”を近づけるために、駅と“まち”を一体化
  - ・ 公共空間を歩行者優先に再編することで、駅と“まち”をシームレスにつなげる検討



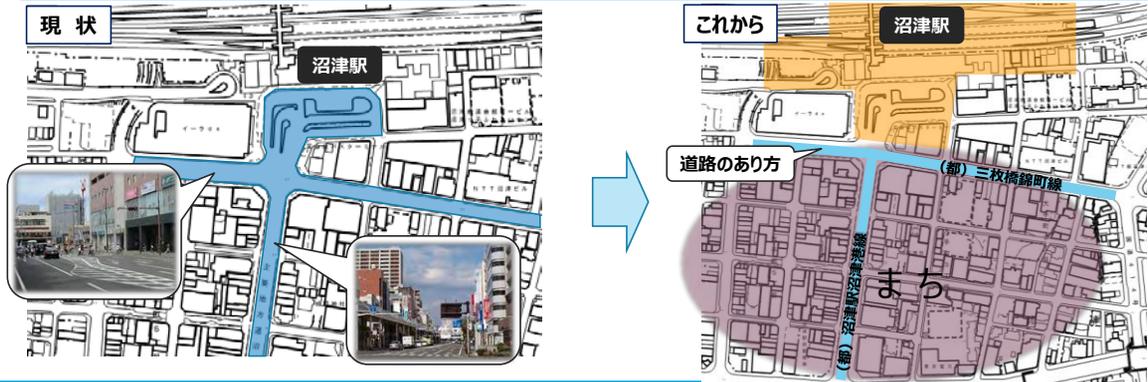
## ⑥ ヒトと公共交通優先の空間の創出

### ■現状

- ・自動車交通優先の駅前道路空間

### ■これから

- ・自動車交通を受け持つ幹線道路の整備とともに、駅前空間を公共交通の再編とあわせて「車」から「ヒト」への転換
- ・駅周辺における公共交通の円滑な通行など、利便性を向上させる道路のあり方を検討
- ・ヒト中心の誰もが歩きたくなる歩行者指向の空間形成に向けた検討
- ・沼津港や香貫山、狩野川など、周辺の地域資源をつなぐ緑のネットワーク形成を意識



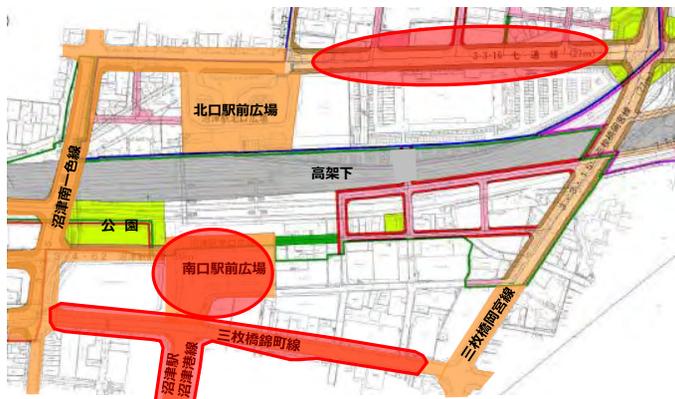
## ⑦ 段階的な整備と暫定利活用

### ■段階的な整備

- ・沼津駅周辺総合整備事業は長期間にわたる事業であり、段階的に都市基盤が整備されていく
- ・公共空間の再編についても短期⇒中期⇒長期の段階的な整備に取り組む

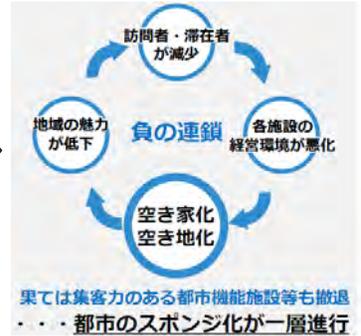
### ■暫定利活用

- ・実践先行型の施策を含め効果的な暫定利活用のあり方について検討



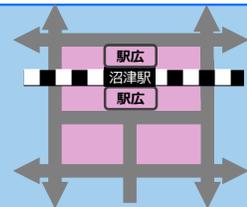
### ⑧ 低未利用地の活用

- 現状
  - ・建物から建物への更新が進まず、建物から駐車場への利用転換が進行
  - ・空き地や駐車場等が散在し、低未利用地が増加
- これから
  - ・歩いて楽しい空間をつくるために、駐車場の適正配置とともに有効活用の可能性について官民で検討
  - ・まちなか居住を促進する市街地環境向上のため、駐車場の集約や利用転換等について研究
  - ・空き地等の低未利用地について、まちなか居住を支える機能導入等もあわせて検討



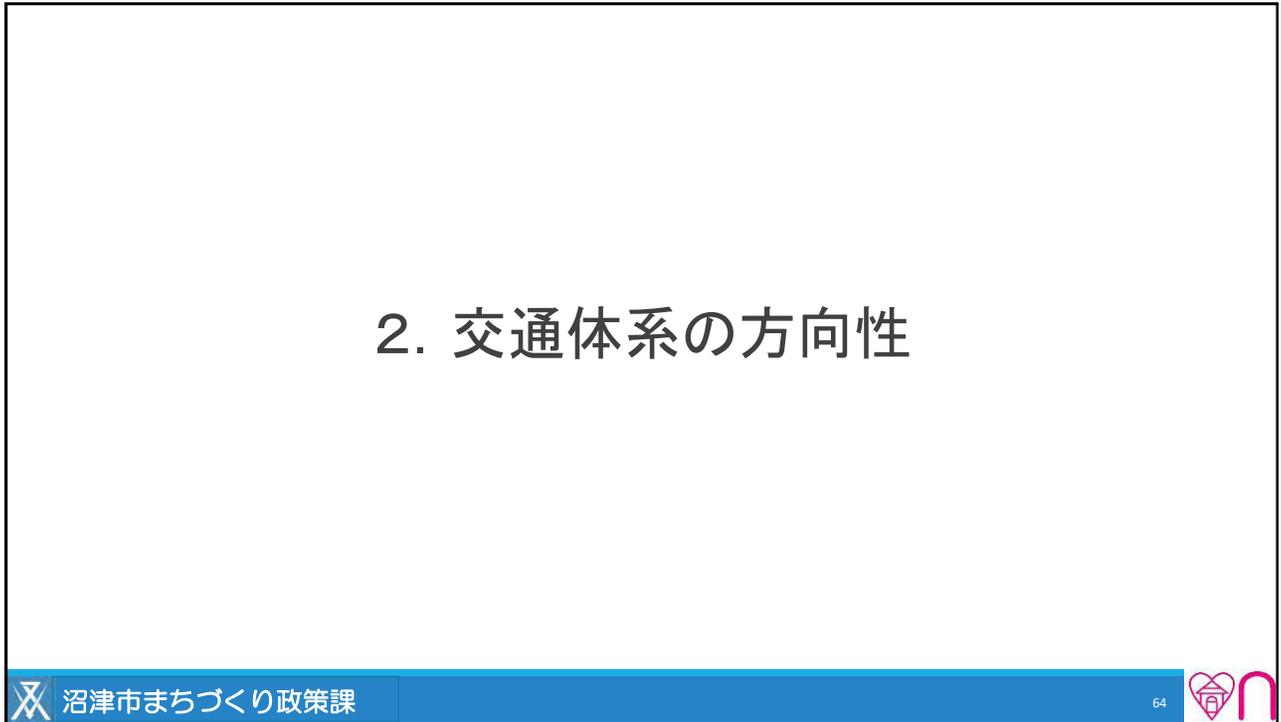
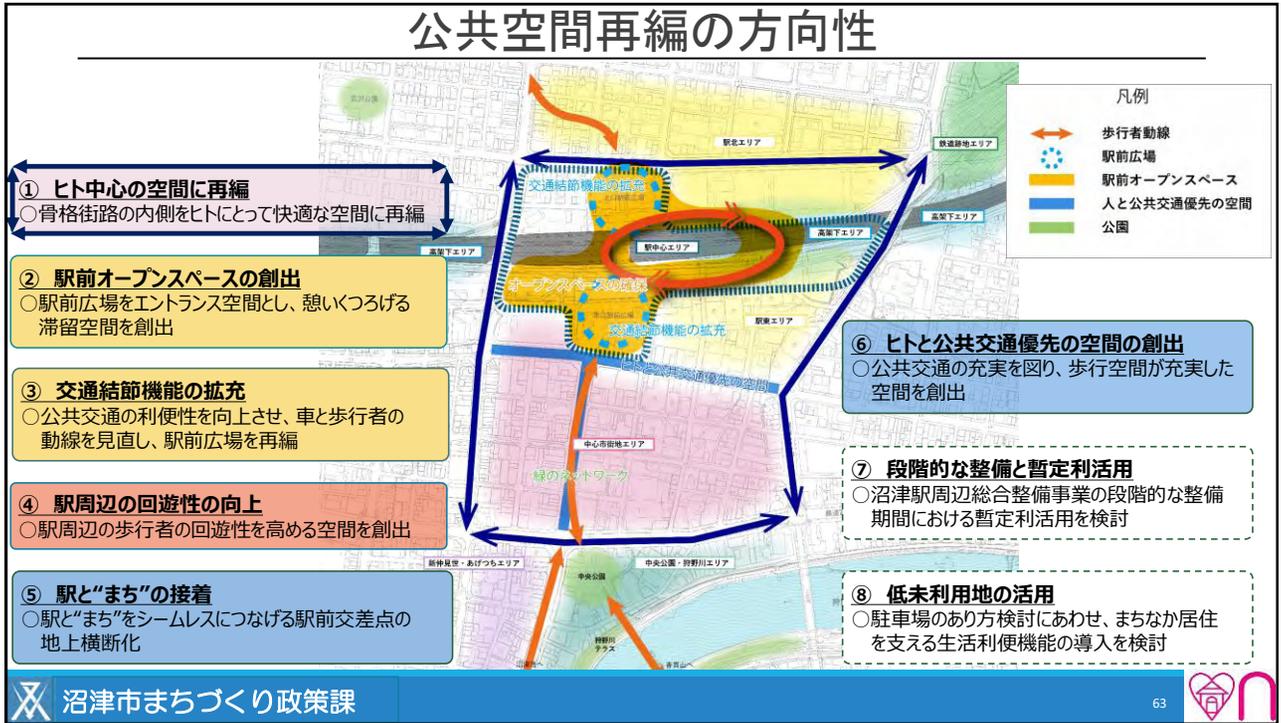
### 公共空間再編の方向性についての論点整理

① 駅周辺総合整備事業により整備される  
環状道路により囲まれた内側はヒト中心の空間に



- ② 駅前オープンスペースの創出
- ③ 交通結節機能の拡充
- ④ 駅周辺の回遊性の向上
- ⑤ 駅と“まち”の接着
- ⑥ ヒトと公共交通優先の空間の創出
- ⑦ 段階的整備と暫定利活用

⑧ 低未利用地の活用 → ※都市機能導入とあわせて検討



## 歩行者動線の考え方(試案)

### <南北軸の形成>

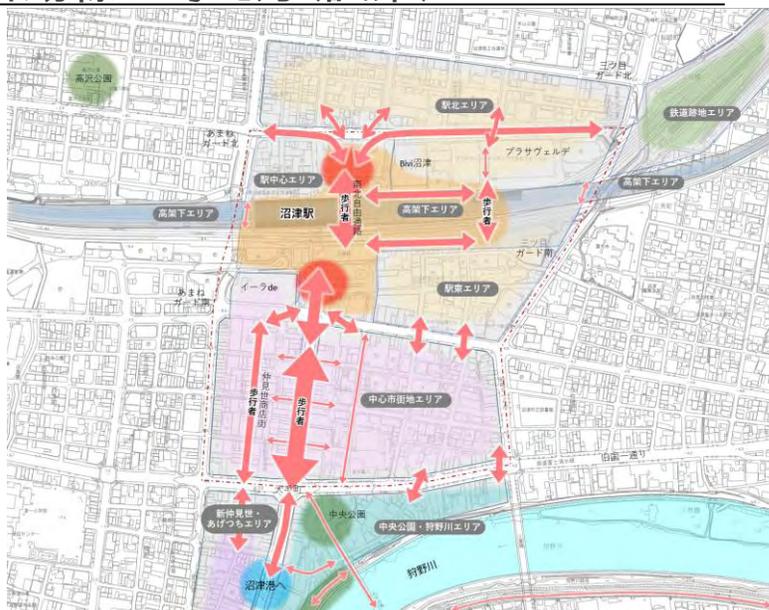
- 駅周辺の回遊性の向上と広場空間の確保及び南北が繋がる歩行者南北軸を形成

### <連続した歩行空間>

- 各エリアが繋がる連続した歩行空間を創出

### <地域・観光資源とのネットワーク>

- 南北軸と地域資源を結ぶネットワークを形成
- 自然の豊かさを感じさせる緑のネットワークを形成



## 公共交通動線の考え方(試案)

### <駅と拠点間のネットワークの形成>

- 都市の拠点である沼津駅と地域の拠点を連携する公共交通ネットワークを形成

### <利便性向上のための再編>

- 駅前広場の路線バス乗り場を方面別に再編し、利便性を向上
- タクシープールの再編とあわせて駅前広場は居心地の良い快適な空間を形成

### <駅とまちの接着>

- 駅周辺と“まち”をつなぐ南口駅前広場に接続する道路をヒトと公共交通優先の空間にしていくことを検討



# 自動車動線の考え方(試案)

## <環状道路の整備>

- 沼津駅周辺総合整備事業により、南北・東西の幹線道路が整備され、通行が円滑化

## <通過交通の抑制>

- 環状道路の形成に伴い、南口駅前を通過する交通を抑制

## <環状道路内側の自動車アクセス>

- 環状道路を活かし、駅周辺の公共空間を居心地の良いものにする観点から一般車のアクセス動線を検討



# 交通体系の方向性(試案)

## ■ヒトの動線

- “駅”と“まち”をつなぐ南北軸の形成
- 駅前広場の広場化
- 地域資源との回遊性を高めるネットワークの形成

## ■公共交通の動線

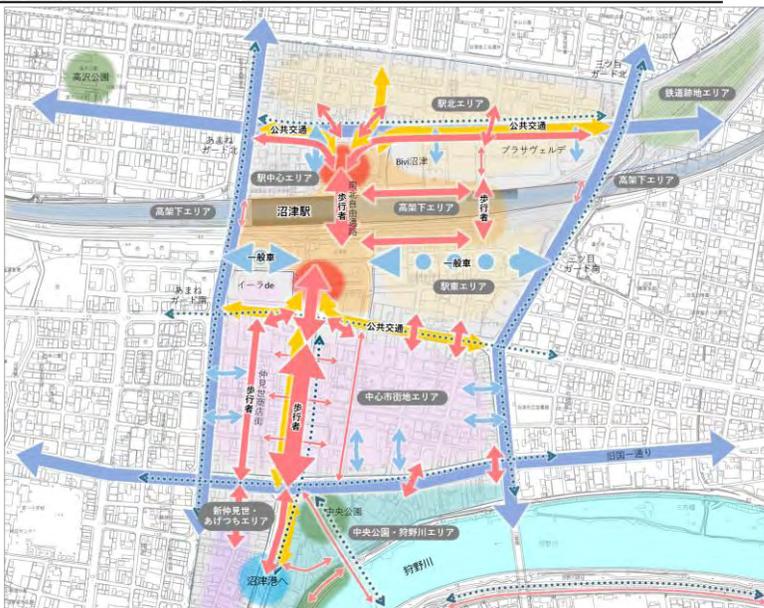
- 拠点を連携する公共交通ネットワークの形成
- 駅前広場では、路線バスを方面別に再編し利便性向上、タクシープールの再編にあわせた居心地の良い空間形成
- ヒトと公共交通優先の空間の検討

## ■自動車の動線

- 自動車交通は環状道路で処理
- 居心地の良い空間形成に向けた駅へのアクセス検討

## ■自転車の動線

- 幹線街路に自転車走行空間の配置
- 地域資源へつながる自転車ネットワークの形成



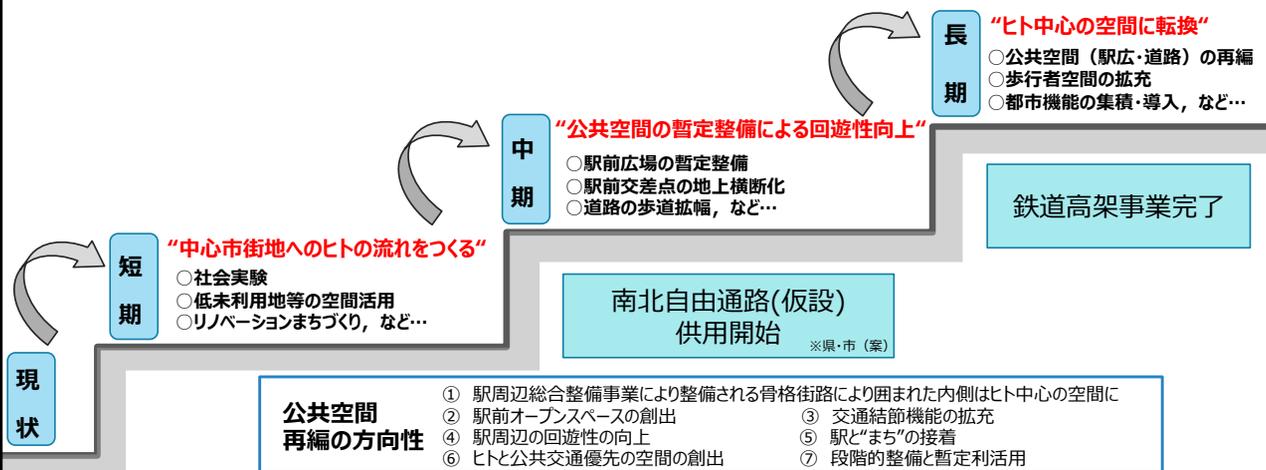
### 3. 公共空間再編に向けた取組



### 中心市街地まちづくり戦略のイメージ(再掲)

中心市街地まちづくり戦略とは・・・

✓ 沼津駅周辺総合整備事業の進捗を見据え、将来像の実現に向けた段階的な取組方針



## 短期の取組み(イメージ) ~中心市街地へ人の流れをつくる~

中心市街地まちづくりの動き  
**第1段階(短期)**

### 交通結節機能の拡充(方向性③)

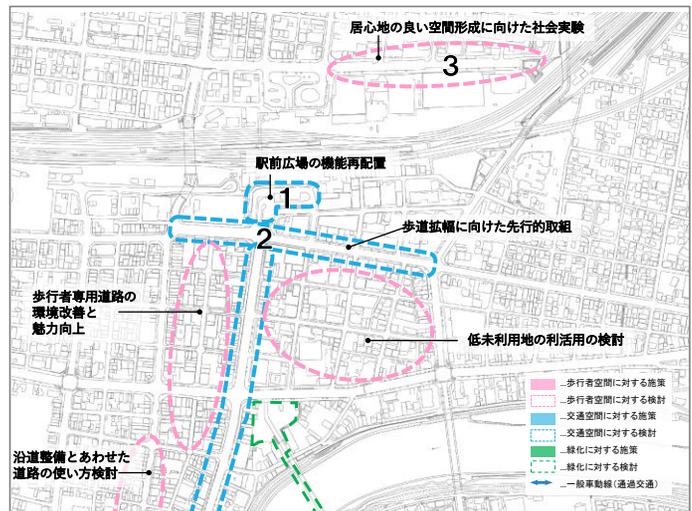
- 1 駅前広場の機能再配置
  - ・南口バスの方面別集約化

### ヒトと公共交通優先の空間の創出(方向性⑥)

- 2 歩道拡幅に向けた先行的取組
  - ・道路空間の再配分に向けた社会実験等の取組
  - ※駅前交差点の地上横断化に向けた調整

### 段階的な整備と暫定利活用(方向性⑦)

- 3 居心地の良い空間形成に向けた社会実験
  - ・段階的に整備された道路等の暫定利活用に向けた取組



## 中期の取組み(イメージ) ~公共空間の暫定整備による回遊性向上~

中心市街地まちづくりの動き  
**第2段階(中期)** 南北自由通路(仮設)整備時期

### 交通結節機能の拡充(方向性③)

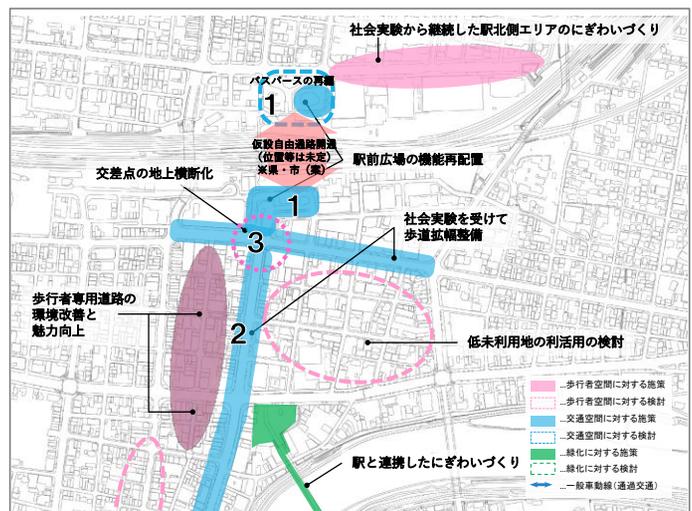
- 1 駅前広場の機能再配置
  - ・駅南北バスの再編
  - ・タクシーの効率化
  - ・一般車乗降場の暫定整備
  - ※機能分担のあり方については検討が必要

### ヒトと公共交通優先の空間の創出(方向性⑥)

- 2 歩行空間が充実した道路に向けた歩道拡幅
  - ・広幅員道路における道路構成の再配置

### 駅と“まち”の接着(方向性⑤)

- 3 駅前交差点の地上横断化
  - ・駅前広場及び駅前道路の再編に伴い駅前交差点を整備



# 長期の取組み(イメージ) ~ヒト中心の空間に転換

中心市街地まちづくりの動き  
第3段階(長期) 鉄道高架事業完了時期

## 駅前オープンスペースの創出 (方向性②)

1 駅とまちをつなぐ、ヒト中心の駅前広場

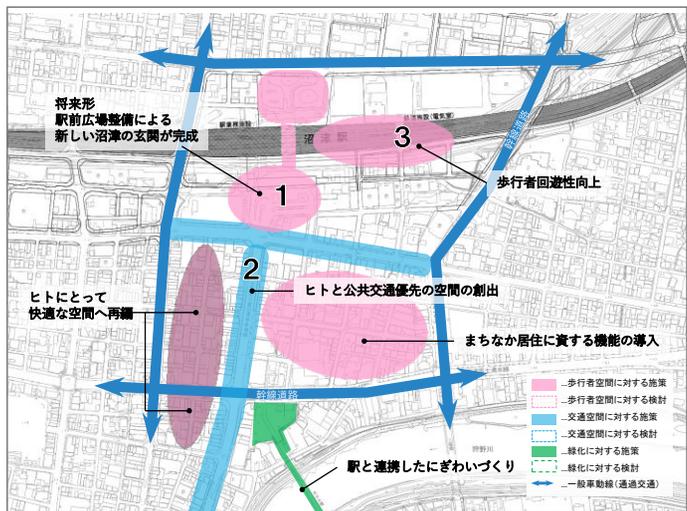
## ヒトと公共交通優先の空間の創出 (方向性⑥)

2 ヒトと公共交通優先の空間の創出

## 駅周辺の回遊性の向上 (方向性④)

3 駅北口プラザヴェルデエリアと  
駅南口エリアの歩行者回遊性確保

※ 自動運転等の次世代技術活用の可能性も視野に



# IV 今後について



## 今後の進め方(検討内容)

年 度	~2019年度	2020年度~		
公共空間再編	駅前広場	駅前広場の再編の方向性（交通機能、広場空間）	まちづくり戦略策定	駅前広場の整備方針
	公共交通	バス乗り場の再編検討、タクシープールのあり方		新たな公共交通システムのあり方
	交通	ヒト中心の空間に向けた検証（交通網）、課題整理		自動車交通のコントロール（環状道路への誘導） 荷捌き、駐車場のルールづくり
	道路空間	道路空間再配分に向けた歩行者指向の空間のあり方		道路デザインの検討及び社会実験の実施
	利活用	沿道建物と一体的な利活用、管理運営の考え方		エリアマネジメントの検討及び社会実験の実施
都市機能導入	鉄道跡地高架下	都市機能導入の方向性		段階的に生まれるエリア毎に導入する都市機能
	スポンジ化	駐車場の現状把握、課題整理		駐車場の集約や利活用に向けた検討及び社会実験の実施
	その他	市民や関係者とまちづくりの方向性について共有、合意		関係者との協議調整事項等の整理



## 今後の予定

日 程	中心市街地まちづくり戦略会議・WG	市民WS・社会実験	
	2019年3月	第2回 ■公共空間再編の方向性	
		WG	
		第3回 ■都市機能導入の方向性 (※WG、市民WSの意見を反映)	
		WG	
		第4回 ■まちづくり戦略(案) ・目的、位置付け ・取組方針 ・推進体制 (※戦略会議、WG、市民WSの意見を反映)	
	パブコメ		
	第5回 ■まちづくり戦略 (※戦略会議、パブコメの意見を反映)		
2020年3月	■まちづくり戦略 策定・公表		

